

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきかいしやげきだんかげぼうし		団体ウェブサイトURL	
	株式会社劇団影法師		http://kageboushi.com/	
代表者職・氏名	代表取締役 小杉 隆			
制作団体所在地	〒	180-0012	最寄り駅(バス停)	三鷹駅(JR中央線)
	東京都武蔵野市緑町2-1-5			
電話番号	0422-54-7770			
ふりがな 公演団体名	かぶしきかいしやげきだんかげぼうし		団体ウェブサイトURL	
	株式会社劇団影法師		http://kageboushi.com/	
代表者職・氏名	代表取締役 小杉 隆			
公演団体所在地	〒	180-0012	最寄り駅(バス停)	三鷹駅(JR中央線)
	東京都武蔵野市緑町2-1-5			
制作団体 設立年月	1980年12月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 小杉 隆 取締役 原田 尚幸 取締役 川田 一彰 監査役 山崎 祐		演技部15名／文芸演出部2名 制作部3名 面接及びオーディションにより随時採用	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く		本事業担当者名	小杉 隆
経理処理等の 監査担当の有無	有		経理担当者名	下路雅之

本申請にかかる連絡先
(メールアドレス)

mail@kageboushi.com

<p>制作団体沿革</p>	<p>1978年 劇団創立。 影絵劇、人形劇を中心に日本全国の児童青少年に向けた幅広い公演活動を開始する。</p> <p>1980年 株式会社劇団影法師を設立。 現在までに45年間で延べ1,109万人以上の観客に当劇団の作品をご鑑賞頂いております。</p> <p>1988年以降 国際的な視野にたち、現在までに世界16カ国の劇団と23作品の国際共同制作を行い、海外公演は16作品を28カ国84都市において実施しております。</p> <p>これら国際的な功績により、平成16年には日本の演劇団体として、初めて外務大臣表彰を受けました。</p> <p>【劇団影法師 主な受賞歴など】 外務大臣表彰／東京都優秀児童演劇選定優秀賞／(公社)日本演劇協会優秀賞／(公財)都民劇場優秀賞／厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財／上海国際児童演劇祭 最優秀賞・ベストクリエイティブ賞／文化庁優秀舞台芸術奨励事業／こども芸術劇場／本物の舞台芸術体験事業／次代を担う子どもの文化体験事業等採択</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>1978年より学校公演を開始、2023年まで45年間で52作品21421公演、約810万名の児童・生徒さんにご鑑賞頂いた実績があります。</p> <p>※近年の実績は下記の通りになります。</p> <p>平成26年4作品334公演114,428名／平成27年6作品366公演140,008名 平成28年4作品379公演128,666名／平成29年4作品359公演126,923名 平成30年6作品308公演106,765名／令和元年6作品 300公演 101,325名 令和2年8作品63公演24,407名／令和3年9作品117公演49,196名 令和4年度5作品421公演83,031名／令和5年度 5作品500公演90,000名(予定)</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>高知県立高知若草特別支援学校／福島県立いわき支援学校／福岡市立屋形原特別支援学校 大阪府立平野支援学校／山梨大学教育学部附属特別支援学校／千葉県立つくし特別支援学校 千葉県立東金特別支援学校 等</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/9m7lmOkfaLk</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>
		<p>PW:</p>	<p>なし</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 株式会社劇団影法師】

対象	小学生(低学年)	○	/	
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	消える、現れる、変身する！妖怪影絵を楽しもう！			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>演目：妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」 原作：水木しげる 音楽：五十嵐白林 演出・人形美術：柴広義 脚本：さらだ たまこ</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	原作使用
	該当事項がある場合	権利者名 水木プロダクション	許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済
	<p>本作品は、中国伝統影絵人形劇である皮影戲（ピーインシー）と呼ばれる珍しい手法による演目となります。</p> <p>ユネスコ世界無形文化遺産にも登録されている皮影戲（ピーインシー）は、千二百年の歴史ある色彩豊かな美しい影絵劇です。また、使用する人形は牛の皮に、細かな彫刻を施し、彩色し、まるで生きているかのように細工された独特の人形となっています。</p> <p>【本作品特徴】</p> <p>☆だれもが知っている名作を、伝統的な手法・表現を取り入れて作られた今までにない作品です。また、原作者である水木しげる氏のキャラクターによるテーマ性のある深いストーリーも魅力的な作品となっています。</p> <p>☆影絵だけでなく、俳優による前芝居（骨董屋の店主役、小学生のユウト君役、鬼太郎人形役）があり、ストーリーが展開していきますので、スクリーンプレイだけでなくライブ感あふれる立体的な影絵芝居となっています。</p> <p>☆生演奏（琵琶・尺八等）による伴奏の効果音等の演出も加わり、「ゲゲゲの鬼太郎」の世界観が、よりひろがる作品となっています。</p> <p>☆日本にはない特殊な技法で、人形が大きくなったり、小さくなったり、消えたり、現れたりする魔法のような影絵芸術と言われています。まるで生きているように動く人形の動き、リズム感を取り入れた多彩な表現は、児童・生徒さんの想像力を掻き立てて本作品をより興味深く見て頂けると思います。</p> <p>☆8m×4mの大型スクリーンが映し出す、鮮やかな色彩と芸術的な人形の臨場感あふれる“見たことのない美しさ”を誇る影絵です。</p>			

<p>演目概要</p>	<p>【プログラム】 第一部：妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」・・・50分</p> <p>あらすじ 怪しげなおじさんに、骨董屋に鏡を持っていくようにいわれた主人公ユウト。初めて行く店の中にあるいろいろなものに興味深々だが、そんな中、店の隅に座っている古い人形と目が合います。ユウトは、何やら人形と話が始めるが、持ってきた鏡が突然光を放ち一瞬にして、ユウトは鏡の中に吸い込まれ、不思議な空間に投げ出されます。そこで、出会う妖怪たちの魅力に引き込まれていくユウト。妖怪たちが欲しがっているものは、人間の心。魂（心）を狙われているユウトを助けようと鬼太郎と仲間たちが立ち上がります。自分も妖怪族の一員である鬼太郎が、なぜ人間たちの味方をするのか？ユウト（人間）と鬼太郎（妖怪）の心に何か芽生え始めます。</p> <p>休憩10分</p> <p>第二部：珍しい影絵の世界を紹介・・・20分（共演作品） 寓話「2匹の子ヤギ」・・・共演用にアレンジされた小作品です。 セリフがなく、コミカルな動きだけで見せていく小作品。 ある日、二匹の子ヤギが小さな橋のたもとで出会います。二匹とも橋を渡りたいのですが、その橋はとても細くて、一度に一匹ずつしか渡れません。でも二匹は早く渡りたくて、お互いに譲りません。そして、ついに二匹とも川の中に落ちてしまいます。</p> <p>※終演後、バックステージ見学あります。</p> <p>本作品は、「魔法のような芸術」と称されるアジアの伝統影絵芸術作品です。2011年11月に国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産リストにも登録されました。日本の現代影絵の技術をもった劇団影法師とこの伝統影絵芸術の共同製作によって誕生した本作品は、現代にマッチした伝統影絵芸術として好評を得て、2013年より、700公演、426校、176,486名の児童・生徒の皆さんにご鑑賞頂きました。</p>		
<p>演目選択理由</p>	<p>本作品は、ユネスコの無形文化遺産に登録されている世界的に有名な伝統影絵の手法を取り入れています。アジア独特の影絵芸術の真骨頂ともいえる要素が詰まっています。</p> <p>また、この影絵芸術は、人形の仕組み、操作方法、表現方法がわかりやすく体験できるため鑑賞にとどまらず、児童・生徒さんの体験により、自ら新たなオリジナル影絵等の創作に取り組みやすい作品の為、選択致しました。</p> <p>※普段見ることができない芸術作品を鑑賞し、触れて頂くことは年に1回の芸術鑑賞会にはふさわしい作品かと思えます。日本国内で、この影絵劇を上演している劇団は、当劇団のみとなります。</p>		
<p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p>	<p>第二部の「珍しい影絵の世界を紹介」部分での共演・参加になります。 骨董屋の主人役の役者と、基本ワークショップに参加した児童・生徒の皆さんとの共演になります。</p> <p>①まず、共演の児童・生徒さんに、本作品の伝統影絵（皮影戯）ピーインシーについて、説明をお願い致します。</p> <p>②そのあと、共演作品「2匹の子ヤギ」の演技を劇団メンバーとともに共演頂きます。この際、ワークショップで製作した人形なども使用して頂きます。</p> <p>※上記に共演する児童・生徒には、台本に基づいて、人形操作、人形の動きに合わせたセリフ、効果音出し、人形のしくみなどの説明など分担任せて行って頂きます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>次年度予定メンバー 柴広義・葛西千里・中條志保・青木慎治・山中将靖・川田一彰・菱本幸二（伴奏）・五十嵐白林（伴奏）</p>		
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p>	<p>出演者： 7 名 スタッフ： 1 名 合計： 8 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量： 1.5 t 車長： 7 m 台数： 1 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～12時	13時～14時20分	10分	15時～17時	17時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	20日	23日	22日	21日	23日	
	11月	12月	1月	計		175日

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	20～30名
		鑑賞人数目安	800名



影絵 (8m×4mのスクリーン) 体育館フロアに設置



尺八・琵琶による生演奏・伴奏・他効果音の演出



興味深々のバックステージ、どうなってるの？



共演作品 (2匹の子ヤギ)



共演風景



人形製作風景

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20名～30名
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>標準：90分</p> <p>①影絵人形劇の種類や世界にある伝統影絵劇の説明の後、皮影戲（ピーインシー）の仕組みなど、実際の人形を見せながら説明します。</p>  <p>②本公演のとき、共演してもらう小作品の模範演技を見てもらいます。</p>  <p>③共演に使用する打楽器紹介します。</p> <p>④人形操作体験、打楽器体験などして頂きます。</p>   <p>⑤共演用の人形製作を製作して、WS用のスクリーンに実際に映して、操作して頂きます。</p> 		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・影の表現の多様性と珍しい皮影戲（ピーインシー）の面白さを実感してもらい、本公演の時、その仕組みや面白さについての説明をして頂きます。 ・人形を操作しての演技を実感して頂き、本公演で共演して頂きます。 ・人形を実際に作ることによって、操作の方法、人形の仕組み、動きの独特なおもしろさ創造力などを実感して頂きます。 ・影絵劇を作る基本要素、舞台セット、人形操作、音楽、効果音、タイミング、共演者との掛け合いなど体験を通して理解して頂きます。 		

世界の主な伝統影絵人形

世界の伝統影絵をみてもとアジア各地からヨーロッパにかけて分布しています。

中国の皮影戲、インドネシアのワヤン・クリ、トルコのカラギョースなどは世界的にも有名です。影絵の起源は不明ですが、東南アジアから南アジアにかけては、影絵人形の上演が祭儀的な性格をもって行われていたようです。

ヨーロッパにも影響を与えた中国の皮影戲は、色彩豊かで精巧な人形を使い、娯楽性に富んだものに発展していきました。

ここに、今も残る世界の伝統影絵の主なものをご紹介いたします。

- ① 説明
- ② 人形素材
- ③ 特徴
- ④ 主な作品



ギリシャ

- ① カラギョースと呼ばれトルコと同種のものである
- ② ラグダの皮
- ③ 人形の形に丘いデザイン
- ④ 社会風刺的なもの

タイ

- ① ナン・ヤイと呼ばれているものである
- ② 牛の皮
- ③ 大きな人形と小さな人形の2つに分かれる
- ④ 大きな人形——マハーバーラタ
小さな人形——道徳劇



トルコ

- ① カラゴーズという影絵劇でトルコを代表する伝統芸能である
- ② ラグダの皮
- ③ 一本の棒を押しあてて操作
- ④ 社会風刺的なもの



インドネシア

- ① 「ワヤン・クリ」と言って世界的にも有名。ダランと呼ばれる人形遣いが民族音楽をバックにひとりて操作するものである（ジャワ地方）
- ② 水牛の皮
- ③ 人形の胴体が細く神秘的
- ④ ラマーヤナ
マハーバーラタ
パンジー物語



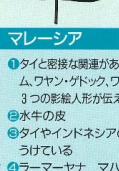
インド

- ① インド全土にまたがり4つの地方に存在していたが、現在南インドにのみ伝承されている
- (ケララ地方)
- ② 鹿の皮
- ③ 1.5m程の大きな形
- ④ ラマーヤナ (オリッサ地方)
- ⑤ 鹿の皮
- ⑥ 色は黒のみ
- ⑦ ラマーヤナ (アンドラプラデッシュ地方)
- ⑧ 山羊が鹿の皮
- ⑨ 人形が等身大に近い
- ⑩ ラマーヤナ



カンボジア

- ① ナン・スパイクと呼ばれている
- ② 雄牛の皮
- ③ 大きな人形で動く絵の様
- ④ ラマーヤナ



マレーシア

- ① タイと密接な関連があり、ワヤン・シャム、ワヤン・グドック、ワヤン・ジャワの3つの影絵人形が伝えられている
- ② 水牛の皮
- ③ タイやインドネシアの影響を強くうけている
- ④ ラマーヤナ マハーバーラタ



- (バリ地方)
- ① 水牛の皮
- ② 人形の肩幅が太く人間的
- ③ ジャワ地方と同じ

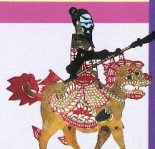
中国 台湾

- (カルナタカ地方)
- ① 羊か鹿の皮
- ② 色は黒のみで、光の使い方が効果的
- ③ ラマーヤナ



- ① 1200年と歴史も古く、切絵から発展してきた、芸術的にも優れた人形で皮影戲と呼ばれ、現在も全国的に公演している
- ② 驢の皮
- ③ 精巧な彩色と自由な動き
- ④ 西遊記 鶴と亀

- ① 中国の皮影戲と同じで切絵の人形であるが、中国より細工が単純で演技も少人数で演じる
- ② 牛の皮
- ③ 儀礼性が強い
- ④ 語り物 現代物



その他ワークショップに関する特記事項等

本事業への申請理由

【公演団体名 株式会社劇団影法師】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>当劇団は、1978年より45年間、児童青少年への観客層を中心に、小学校から高等学校まで、教育機関における芸術鑑賞教室に軸をおいた活動を続けております。現在までに、延べ1100万人以上の児童・青少年の観客に数多くの作品を鑑賞頂いています。まさに、本事業の目的である身近な芸術体験や発想力、コミュニケーション能力の育成、芸術家の育成、芸術鑑賞能力の育成等に合致する活動に長年取り組んでまいりました。</p> <p>このような劇団の活動から感じることは、各公演地の状況に合わせた柔軟さ、先生・児童・生徒をはじめ、PTAの方々や地域とのコミュニケーションの大切さです。本事業への取り組みにつきましても、制作担当者に学校を訪問させるなど現場とのコミュニケーションを積極的に行っていきたいと考えています。また、本事業に対しては教育現場で実績のあるクオリティの高い作品の提供をさせて頂き本事業に取り組む所存です。</p> <p>劇団影法師は、地域と密着した文化創造活動の支援・協力も行っています。このような経験と実績を踏まえ、事業終了後も地域に根差した文化活動として貢献できる基盤をより強化すべく、積極的に本事業に取り組みたいと考えています。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>実施校とのコミュニケーションが重要であると考えます。児童、生徒、教職員などとの連携及びコミュニケーションをとるために、下記内容を行いたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事前にワークショップ及び本公演についての確認書類をお送りし事業内容の確認を行います。 ●電話での確認後、当劇団の制作担当者が実施校に赴き、打合せを行います。 ●児童、生徒のワークショップ及び共演などを円滑に行う為、指導用の映像教材や人形製作用のテキストを準備し活用致します。尚、ワークショップも体育館で実施し本公演の会場条件の下見なども行います。 ●打合せ後に、各学校の実情にあった共演のための準備を行います。 ●実施校が保護者や地域の方々に広報しやすいように、各種宣伝材料を提供致します。 ●事前に、制作担当者が教育委員会等を訪問し、連携して本事業のPRに取り組み、本事業のより一層の効果向上を図ります
--	---